

「バカか！アメリカ(注1)」

2008年3月16日 アシェル・イントレーター

イスラエルの報道陣はバラク・オバマ氏が所属するトリニティー・ユナイテッド・キリスト教会の牧師であるジェレミア・ライト師が、礼拝メッセージ中に何度も「"God damn America!" バカか！アメリカは！バカか！アメリカは！」と叫んだ事を簡潔に取り上げました。(ヘブライ語で「damn(注1)」という言葉はないので、この言葉は「神はアメリカを呪われる」と訳し直さなければなりませんでした。)

訳注1: 罵りの言葉。日本語訳としては「悪い」「最低」「バカな」「愚かな」という意味。「God damn」は人を罵倒する時に使われる言葉。

私はこの記事で、この牧師とオバマ氏とのつながりについての政治的な関わりや、「解放の神学」についての神学的問題についても、オバマ氏の個人的な信仰についての疑問点についても、彼がこの教会で「キリストを見出した」と公に告白していることについても取り上げるのを目的としません。私は祈りという観点からこれに迫ってみたいと思います。**アメリカのために祈る必要性**についてです。

ユダヤ人は紀元前6世紀、離散地に住んでいた時、バベル(現在のイラク)のために祈るよう主から命令されました。(エレミヤ 29 章)すべてのクリスチャンは権威にある者のために祈れと命じられています。(1テモテ2章)

エレミヤ 29:7

わたしがあなたがたを引いていったその町の繁栄を求め、そのために主に祈れ。その繁栄は、あなたがたの繁栄になるのだから。

イスラエル人にとって、自分たちを迫害する国のために祈ることを難しいと感じたことは、疑問の余地もありません。彼らの生きていた時代、現在のアメリカが世界的主導国家であるように、バベルは世界的な主導国家でした。彼らにとっては逆説的のようには見えましたが、バベルのために祈ることは、彼らの幸福をもたらすことになるのです。それゆえ現在において、アメリカの幸福はほとんどのクリスチャンやユダヤ人、そして、世界中の抑圧されている人々にとって、まだ有益なものなのです。

アメリカに対して憤りを感じるのは簡単で、そこに住んでいる人にとってもそうです。娯楽産業は性的不品行とわいせつさをまき散らし、人々は食べ過ぎ、快楽を賛美し、身勝手です。しかし、皆さんはアメリカなしの世界を望みますか。

アメリカは、イスラム教のジハード(聖戦)に反する立場を明白に示した唯一の国です。国連においてイスラエルを常に支援した唯一の国です。入手可能なほとんどの聖書的な、信仰をベースとした文献を生み出した国です。世界において最良の選挙形式、裁判システム、法律体系を持つ国です。(3月14日金曜日、イランは国政選挙を行ないましたが、アフマディネジャド政権に反対し変革に立つ候補者は、選挙が始ま

る前に資格を剥奪されてしまいました。)アメリカはどの国よりもまさって公民権と信仰の自由を保証しています。

過去6ヶ月の間、ドルは国際市場において25%も下がってしまいました。キリスト教の慈善団体や宣教団体の大半はドルで資金を受け取っています。これが意味することは、今年これらの団体は、支援基金の25%を事実上失ったのです。

ほとんどのイエシュア(イエス)を信じる真の信者たちは、ライト牧師のような辛辣な言葉を吐くことはありませんが、アメリカに対する復讐の霊や敵意は多くの面において微妙な影響を及ぼしています。アメリカに対する「祈り」や「預言」と呼ばれる多くは、神の御座の前での不満や糾弾に他なりません。その結果、国や指導者に対する故意ではない呪いとなっています。他の者は祈りを単に無効化してしまい、アメリカのために何も祈らない方がよいと思っているようです。

今、アメリカのために緊急に祈るべきと思います。以下がいくつかの鍵となる指標です。

1. **モラルに対する悔い改め**—アメリカ全土にリバイバルが起こりますように。心から神に向くこと、政府やビジネスにおいて品位があること、イゼベルの霊(黙示録 2:20)、反逆と情欲が砕かれること、信仰における真の共同体が開花することを。

2. **政治**—2008年11月に行われる今年の選挙において、敬虔で高潔な人々が大統領、議会、上院、知事、市長および判事として選ばれますように。ブッシュ大統領が任期最後の年を有効で実りあるものとなりますように。

3. **経済**—国際市場においてドルが安定し再び価値が上がり、すべての慈善団体、宣教団体の予算が満たされますように。ビジネス界において敬虔な人々が起こされ繁栄しますように。

4. **軍部**—イラクで明らかな勝利があるように、国際テロリスト勢力が分解され、国の運営のために現地のイラク人によって安定した公正な政府連立があるように、アメリカ軍が帰還できますように。(そして、私個人としては、アメリカの選挙のおよそ60日前にビン・ラディンが捕まり、除かれることを希望しています。)

5. **イスラエル**—この終わりの時に、アメリカがイスラエルの忠実な友であり続けますように。(イスラエルの報道陣は、ライト牧師のアメリカに対する「罵り」は、アメリカがイスラエルを支援していることに一部つながっていると即座に述べました。)

注:ブッシュ大統領や他の国の指導者たちは、世界祈祷日と5月11日に行われる「ザ・コール」(悔い改めと祈りへの招集)と同じ時に、イスラエルの建国60周年記念を祝うためにエルサレムに集まります。(実際、エルサレムの同じコンベンションセンターで、我々(信者)の直後に、彼ら(政治家)が集会します。)この聖なる集会に参加することを計画されてはいかががでしょうか。そうでなければ、私たちと一緒に日を取って断食と祈りをしてはいかががでしょうか。